LIFE 32

# 地域おこし協力隊が三原で過ごす日々
# みはライフ!

市外から移住した9人の隊員が、地域課題の解決に向けて活動中！






▲商業施設に掲示したポスター



▲隊員が集まり意見を交わす定例会

## 「隊員の活動内容はぜひ市公式ｎｏｔｅで！」

現在、市内で9人の地域おこし協力隊が活動しています。地域おこし協力隊は、三原に魅力を感じ「三原を盛り上げたい！」「三原の課題を解決したい！」という思いで、都市部から三原へ移住してきた人たちです。地域課題解決のため、最長3年間の任期で活動しています。

活動内容を知ってもらうために、これまでの各隊員の活動をまとめた記事を市公式ｎｏｔｅで発信しました。ｎｏｔｅでは各隊員の暮らしや日々の活動内容を発信しています。

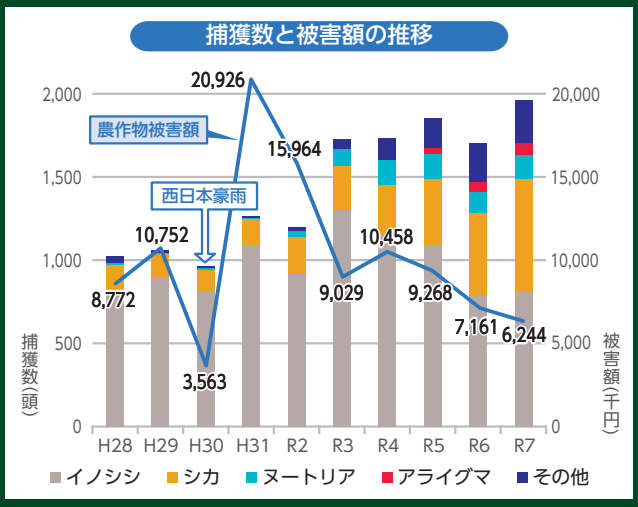
さらに、市役所や市内の商業施設に各隊員が製作したポスターを掲示しました。

これからも地域のみなさんと共に、地域を盛り上げる活動に取り組んでいきます。ご支援・ご協力をお願いします。

地域おこし協力隊の活動は市公式noteで!

問 地域企画課
TEL 0848-67-6011

---




注目!

## 捕獲数と被害額から分かること

・被害の多くはイノシシによるもの
・シカの捕獲数は年々増加
・イノシシの捕獲数は横ばいでも、被害額は減少

地域みんなで取り組み、農作物を守りましょう。

次回は、「総合的な取組」の実践例を紹介します。

問 農林水産課 TEL 0848-67-6081 市HP▶

第2回

## 被害を抑える3ステップ
# 地域ぐるみで「総合的な取組」有害鳥獣から農作物を守る

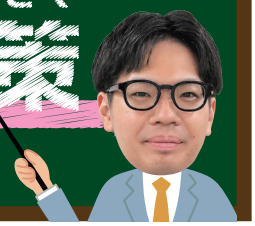
令和7年度のイノシシやシカなどの有害鳥獣による農作物被害額は約624万円で、そのうち約9割はイノシシによるものです。被害を抑えるため、市では、鳥獣被害対策を3ステップで行う「総合的な取組」を推進しています。

■ステップ1「環境整備」
野菜くずや放任果樹（餌場）の撤去や草むらややぶ（潜み場）をなくす環境整備をしましょう。

■ステップ2「効果的な防護柵の設置・管理」
金網柵や電気柵を掛け合わせ、効果的に防護しましょう。

■ステップ3「加害個体の効率的な捕獲」
それでも出没する場合は、有害鳥獣を捕獲。

ゆうがいちょうじゅうたいさく
# 有害鳥獣対策



農林水産課：廣勢

今月のコラム
第59回

# 市長×金のルール

## プラスONE！スマホを置いて家族で会話

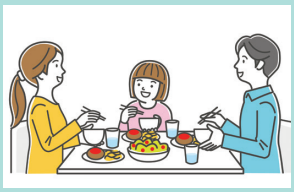
11月1日は「三原教育の日」です。平成21年9月、市議会本会議において「思いやりのある心の教育を展開し、新しい時代の新たな教育を創造する」ため決議されました。現在は、その前後1カ月を「三原教育月間」としています。三原の宝である子どもたちが、これからの時代をたくましく生きていくために必要な力を育むには、園・所、学校、家庭、地域が、それぞれの立場で子どもたちを支え、連携することが大切です。

本市では「たくましく生きる力を育む三原教育宣言」に基づき、子どもたちの元気の素として「金のルール」を定めています。「早寝・早起き・朝ごはん・読書・あいさつ・靴そろえ」。どれも特別なことではありませんが、日常生活で大切にすることが、子どもたちの健やかな成長につながります。

「金のルール」を定めてから17年。子どもたちを取り巻く環境は、大きく変わりました。特に大きな変化の一つが、スマホの普及ではないでしょうか。スマホは、便利な一方、SNSや動画視聴の低年齢化などにより、子どもたちがスマホを使う時間が長くなり、心や体への影響も心配されています。

そこで令和8年3月、時代の変化に合わせて「金のルール」を改訂し、「金のルール」プラスONEとして、「スマホを置いて家族で会話」を加えました。家庭でスマホやネットとの付き合い方のルールを決めるとともに、家族との会話を大切にしましょう。子どもは、家族との何気ない会話の中から、言葉や人との関わり方を学び、安心感や安定感を得ることができます。

「元気でやさしい三原市」の実現に向けて、思いやりのある心の教育を進めています。「金のルール」プラスONEを合言葉に、市全体で、子どもたちの健やかな成長を応援していきましょう。





▲市HP

# 国際交流員ジェイクの マイミハラにっき My Mihara 日記 Vol.2




三原浮城まつりの甲冑行列(令和5年度)








## 三原市の歴史を感じる「浮城まつり」

3年前、三原市に来て最初に訪れた場所が三原城跡でした。16世紀に築城されたといわれる歴史ある城跡のすぐ上を、新幹線が走り抜ける光景はとても印象的で、まるで過去と未来が一つの風景の中で交差しているように感じました。

三原城（浮城）について調べる中で、戦国時代の武将 小早川隆景によって築かれた城であることを知り、三原が持つ豊かな歴史や文化に興味を持つようになりました。

その後、「三原浮城まつり」の甲冑(かっちゅう)行列への参加を提案され、迷わず「はい！ぜひ参加させてください！」と答えました。実際に甲冑を身にまとい、歴史あふれる街並みを歩くことで、歴史をより身近に、肌で感じることができました。「三原浮城まつり」は、1年の中でも特に楽しみにしています。




Information for foreign nationals in Mihara

CIRが三原の魅力などを発信中!

Instagram & Facebook

◀Instagram

Facebook▶

●多言語相談窓口(市役所本庁4階)
問 地域企画課(TEL 0848-67-6184 FAX 0848-64-7101)